食品の安全性確保に関するリスクコミュニケーションの 評価基準の作成について（検討メモ）

評価基準作成の目的

- ・ 食品安全委員会が行うリスクコミュニケーションの評価を客観的に行い、リスクコミュニケーションの改善に資する。

評価のための検討事項

1 . 一般的な事項

- ・ 重点的にリスクコミュニケーションを行う案件の設定は適切に行われているか。
- ・ リスクコミュニケーションの対象者の設定は適切か。
- ・ リスクコミュニケーションの方法（意見交換会、電子媒体の活用、意見聴取期間の設定など）は適切か。

2 . 情報提供、意見の交換に関する事項

- ・ 設定した対象者にリスク情報が正確に届いているか。
- ・ 提供した情報の内容は理解されているか。
- ・ 提供した情報により、案件に関する知識は改善されているか。
- ・ 提供した情報により、対象者の考えや行動は変わったか。
- ・ 対象者からの意見は十分吸収、理解できたか。

3 . 意見の反映に関する事項

- ・ 意見は評価者に伝達できているか。
- ・ 意見は評価など委員会の取組みにどのような形で反映されているか。
- ・ 反映の結果について周知できているか。

4 . 手続きに関する事項

- ・ 案件形成、情報提供、意見の交換、反映の一連のプロセスは、十分透明か。
- ・ 案件形成、情報提供、意見の交換、反映の一連のプロセスは、遅滞なく行われているか。
- ・ 案件形成、情報提供、意見の交換、反映の一連のプロセスは、適切な手続きによって行われているか。

評価に必要なデータを収集するための検討手段

- ・ 案件に関係する種々の発表、文献等の調査
- ・ メディアによる報道の状況（一般メディア（一般紙、放送等）、専門メディアごとの扱い、論調 など）の調査
- ・ 食品安全委員会のHP等に対する反応の検討
- ・ 食の安全ダイヤルに寄せられる質問・意見等の検討
- ・ 食品安全モニターの報告等の検討
- ・ 各種のアンケート調査（一般世論調査、特定のグループ、意見交換会出席者を対象とした調査 など）
- ・ 意見交換会への出席者数（申込者数）とその構成（対象者が出席しているか など）の検討
- ・ 意見交換会の開催方法（会場の場所・規模・設備、時期・時間の設定、会議の運営 など）の検討 等

その他

- ・ 評価の時期
- ・ 評価の実施者
- ・ 指標の設定、有意性、定量性 など